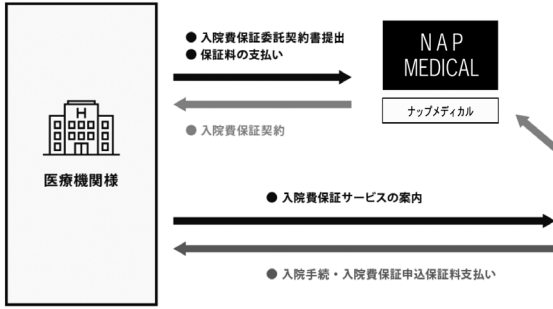
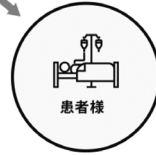


未収金発生時の入院費用等を保証

スタッフ負担が大幅軽減

ナップ貸貸保証

ナップ貸貸保証は、100床以上の病院を対象とした入院医療費保証サービスを展開。病院にとって大きな問題となっている未収金の解決とともに、病院スタッフの負担軽減にもつながるとして、導入施設が増えている。石狩市の花川病院でも11月から利用開始された。



医療機関にとって、入院費用の未収金は大きな課題だ。病院の健全な経営にとって、未収金の解決は必須だが、督促・回収業務は事務スタッフにとって時間

的、心情的負担が大きい。緊急入院や外国籍患者の未払いケースとなると、さらに対応が難しく、スタッフを悩ませる。一方、こうした未収金を減らすための手段として、入院時に連帯保証人を求める医療機関もあるが、病院にとっては連帯保証人の支払い能力の確認が難しく、患者にとっても「親族に頼みにくい」



「個人情報漏洩が心配」などの課題がある。同社はこうした現場や患者の声に応えるべく、入院医療費保証サービスを開発した。内容は、病院とは入院費保証契約を結び、患者の未払いが発生した際の入院費用は同社が保証内容に合わせて立て替える。一方、患者は保証委託契約を結び保証料を同社に支払うと同時に、入院費用が支払いできなかった際は分割等で同社に費用を支払う。

大きな特徴は、病院の費用負担はなく、さらに未払いが発生した際も督促・回収業務が不要なこと。患者が最初に支払う保証料は、病院の規模や診療科の種類によって算出され、病院ごとに異なる。保証範囲は入院費用における診療報酬の患者負担分のほか、入院費用

実費負担額、室料差額、アメニティ費用、そのほか入院に関わる費用。入院前に病院スタッフと同サービスについて説明し、利用するかは患者の判断に委ねられる。サービスの説明用のパンフレットは同社が用意しており、スタッフの負担は少なく済む。患者にとっては、保証料の支払いがあるものの、連帯保証人を用意する手間が無く、無利子による長期分割払いも可能で安心して入院できるのだ。予約入院以外に緊急入院や無保険者、さらに外国籍の患者も対象となる。問い合わせはQRコードから。